氏 名	佐々木一惠 教授
こんな研究 をしていま す	19世紀末から20世紀初頭にかけてのアメリカ合衆国における宗教と社会運動の関係を、ジェンダーの視点から捉える研究をしています。最近は、20世紀転換期における米国聖公会におけるアングロ・カトリシズム(イングランド国教会におけるカトリック的要素を重視した神学)の興隆に着目し、この宗教的思潮から米国の革新主義運動を捉えなおす研究をしています。またそこから、米国における社会主義、コミュニタリアニズムの系譜の再検討を試みています。
こんな成果 を挙げてい ます	 ● Redemption and Revolution: American and Chinese New Women in the Early Twentieth Century (Ithaca, NY: Cornel University Press, 2016). (論文) ● 「聖十字架修女会の会員とセツルメント運動 ――生と活動の様式としてのアングロ・カトリシズム」『ジェンダー史学』16 号、2020 年。 ● 『第三者』性のポリティクスー19 世紀末ニューヨークの聖公会員の社会改革運動と公共領域の再編」『アメリカ史研究』42 号、2019 年。 ● "American Women Reformers in China and the Paradox of Internationalism, 1910s-1930s," Review of International American Studies Vol. 6 no. 2-3, 2013. ● "Excludable Aliens vs. One National People: The U.S. Chinese Exclusion Policy and the Racialization of Chinese in the United States and China," The Japanese Journal of American Studies Vol. 23, 2012.
ほかに、こん な ジャ ンル に 関 心 を も っています	19世紀後半から20世紀初頭にかけてのアメリカ合衆国におけるジェンダー問題公共領域と宗教、世俗主義の形成
こんな授業 を行なって います	 ● 多文化相関論 III (歴史学の諸アプローチ) 歴史学における方法論的展開(政治史・経済史・文化史など)の概要について議論していきます。 ● ジェンダー論 (ジェンダー史の展開) ジェンダー史の視点や方法論を議論していきます。
学会や社会 でこんな活 動をしてい ます	アメリカ学会の英文ジャーナル編集委員アメリカ学会常務理事アメリカ史学会運営委員
私 が 思 う 多 文化的かつ、 イ ン タ ー カ ル チ ュ ラ ル な人物	エドワード・サイード (パレスチナで生まれ、エジプトやレバノンで暮らしたのち、 アメリカに移住した研究者で、ポストコロニアル研究の確立に貢献した)